神戸老人ホームだより

創設 明治32年 想いを感じ、明日へつなぐ
社会福祉法人神戸老人ホーム　2024年3月1日発行
VOL. 7

住吉神社へ初詣

寿司実演

わくわくウォークラリー

栄養教室（ふらっと住良本町）

かもこの風上空からの神戸の街並み（ドローン撮影）

ごあいさつ

社会福祉法人 神戸老人ホーム 副理事長　木村　浩

令和５年12月５日に理事・評議員が久しぶりに一堂に会し、上半期事業報告会が開催されました。要点をまとめ、神戸老人ホームだよりとさせていただきます。

コロナ感染症について：４月に住吉苑、８月に友愛苑、９月にかもこの風で新型コロナ感染症が発生、その他の事業所でも散発的に発生し、ご利用者、ご家族には不安、心配をおかけしました。ご利用者、職員共に重症化がなかったことが幸いでした。今後はインフルエンザやノロウイルス感染症にも緊張感をもって対応してまいります。

設備について：住吉苑、光明苑の大規模修繕が無事に終わりました。住吉苑（養護）、光明苑（特養）にセンサー付きベッド、友愛苑にセンサー、等 ICT 関連設備が多くの施設に設置されました。

職員満足度調査について：「働きやすい職場だと思う」81.3%、「これからも働き続けたい」82%など満足度の高い結果が出ています。今後は満足度の低い職員の分析を行い離職率の低下を目指します。

経営状況について：新型コロナ感染症の発生がおさまり、入所者数が計画近くに回復してまいりました。新聞等に介護施設の現状が報告されましたように大変厳しい経営環境ですが、創設124年の歴史の重みと誇りを胸に安心経営を目指してまいります。

元日に発生しました能登半島地震には本当に驚きました。新たな災害の様子が連日のように報告され、地震の激しさに驚きが募るばかりです。お亡くなりになられた方々のご冥福と、一刻も速やかな復興が行われますことを心よりお祈りいたします。このような大震災に対してどのような対策を立てておくべきか、皆さんと改めて話し合わなければならないと思います。

法人理念

友愛の心をもって　豊かな福祉を創造し、地域に貢献します。
友愛の心をもって　尊厳を守り、その人らしい暮らしを支援します。
友愛の心をもって　研鑽を積み、ともに幸せを追求します。

養護老人ホーム 住吉苑

11月14日に秋の日帰り遠足に行ってきました。

行先は神戸市北区にあります「フルーツフラワーパーク」です。ご入居者はもちろん職員もとても楽しみにしていました。新型コロナウイルスの影響で大人数での外出行事はなんと４年ぶりの開催となりました。

マイクロバスをチャーターして行き帰りの車内では隣に座った方との会話にも花が咲いていました。「道の駅が最近できたんやで」と職員でも知らない情報を持つご入居者もいらっしゃいました。

到着すると早速みなさんお楽しみの宴会会場での昼食です。乾杯の後、前菜から始まり見た目にもきれいなコース料理を堪能しました。皆さんお食事だけでなく周囲の方とのお話も楽しげにされており、とても満足されていました。「美味しいわ～。毎日食べたいわね。でもたまに食べるからいいのかもね」といった会話も聞こえてきました。

その後カラオケで盛り上がり、おみやげを購入、最後にみんなで記念写真を撮りました。

「また行きたい。今日は連れてきてくれてありがとう」といったうれしい声をいただきました。

残念ながら全員のご入居者の参加はできませんでしたが、参加できなかった方にはホームで豪華な昼食を召し上がっていただきました。

また来年も企画できればと思っています。

（介護職員　高井 大輔）

住吉苑・光明苑　大規模修繕　ICT導入工事完了のお知らせ

住吉苑・光明苑は平成11年の建て替え以降、築24年が経過し、建物の老朽化が目立ってまいりました。昨年より神戸市や関係各所のご協力を得て、大規模修繕工事と ICT 導入工事に着手し、この度、無事に工事を完了することができました。これからも快適で安心して過ごせる新しい施設として、新たな一歩を踏み出すことができました。ご入居者をはじめ、地域の皆さま、修繕工事に寄与していただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

また、当法人では、各施設の ICT 化に積極的に取り組んでいます。最新テクノロジーを活用しながらも、豊かな人間関係をはぐくみ、共に過ごす時間が心地よく充実したものとなるよう努めてまいります。

（法人本部）

特別養護老人ホーム 光明苑

お正月の三が日に、ここ数年の間コロナ禍で自粛していた初詣に久々に行ってまいりました。人込みを避け、少人数でマスクなど感染症対策をしながらのお参りでしたが、久々の外出とあって皆様とても喜んでくださいました。職員が車椅子を押しながら弓弦羽神社まで、歩いて10分ほどの道のりも、道に咲く野花を眺めたり、晴れた空を見上げたりと、良い気分転換の時間になったというお声もありました。

できるところから日常を取り戻しながら、皆様と共に笑顔あふれる一年にしていきたいと思います。これからも、様々な活動やイベントを通じて、皆様の生活が豊かで充実したものとなるよう尽力してまいります。どうぞ、これからもよろしくお願いします。

（副施設長　安達 義晴）

デイサービス やまびこ

今年も桜の開花が待ち遠しい時期になってきました。日本には四季があり、それぞれの季節の良さを楽しむことができます。デイサービスやまびこでは、季節ごとのイベントはもちろん、日頃からご利用者に心の底から楽しんでいただけるサービスを提供したいと考えております。直近では、車椅子対応の送迎車で『ドライブも兼ねてのお花見』を考えております。コロナの影響などで外出の頻度が減っていませんか？

ここ数年、日本を代表する『桜』を生で観賞されましたか？ぜひ、やまびこに来ていただき愉快なスタッフをはじめ、たくさんの方々と一緒に人生のアルバムに新たな思い出の１ページを刻みませんか。

You Only Live Once　～人生は一度きり～

スタッフ一同、心よりお待ち致しております。

（機能訓練指導員　リーダー　髙橋 浩）

特別養護老人ホーム 友愛苑

３月（弥生）となり、少しずつ暖かく春らしさが感じられる頃となりました。

友愛苑では昨年末頃より感染症対策緩和の一環と致しまして、月に１回程のペースではありますが、地域のボランティアやご家族にもご協力を頂き、全体行事や外部レクリエーションを再開致しております。いつもご協力頂いておりますボランティアの方々やご家族には、職員一同心より感謝申し上げます。

また、２月からは面会におきましても予約方法や時間制限の緩和を行っており、コロナ禍以前の生活に戻れますよう取り組みを進めてまいります。

ご入居者に少しでも多くの笑顔が溢れますように、今後とも邁進してまいります。

（介護課長　瀬崎 純平）

獅子舞

クリスマス会

デイサービス こだま

デイサービスこだまでは、10月のハロウィンを兼ねた、おやつレクリエーションとして『かぼちゃとさつま芋のトライフル』を提供させていただきました。トライフルとは、イギリスで生まれた家庭的料理のお菓子の一つで、小さくカットしたスポンジやクリーム、フルーツなどを重ねて作るデザートで、パフェによく似ています。喫茶スペースで出来立てをみなさまに味わっていただきました。

「珍しいお菓子だね」「とても美味しい！」と好評でした。

季節ごとに様々な企画を実施しているデイサービスこだまです。職員一同、頑張ってまいりますのでこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

（生活相談員 係長　園田 丈博）

特別養護老人ホーム かもこの風

今回、かもこの風からは昨年の12月に開催されました、「ちぬのうら幼稚園」園児さんとの交流会の様子をお伝えさせていただきます。

５歳の園児さんたちがホームに遊びに来られた途端「かわいい～」と歓声があがり、笑顔と拍手でお出迎えさせていただきました。園児さんたちと一緒に手遊びゲームをしたり、お歌を披露してくれたりしました。ご入居者や職員は園児さんたちが一生懸命歌っている姿に感動し、終わった後は拍手喝采でした。ご入居者からは園児さんたちにちょっと早いクリスマスプレゼントとして、お菓子の詰め合わせをお渡しさせていただき、園児さんたちからは手作りのプレゼントをいただきました。ご入居者からは「可愛い～」「サンタさんや～」「これトナカイやね」と喜ばれていました。あっという間に時間が過ぎ、帰るときにはお互いハイタッチでのお見送りとなりました。

コロナウイルスの蔓延もあり、様々な対外交流や外出の機会が失われていましたので、2019年以来２度目となる交流会は感慨もひとしおの一日となりました。かもこの風では、レクリエーション活動にも力を入れて取り組んでおります。ご入居者に日常から少し離れた時間を持っていただければ、幸いと思っております。

（生活相談員　リーダー　梶井 貴夫）

ケアハウス ゆうあい

このたよりが出る頃には、「うららかな陽気に心躍る季節となりました。」という挨拶がしっくりときそうです。今年は４年ぶりに「初詣」をおこないました。コロナが流行して以降、「来年は行こう」と見合わせてきましたが、今年は物事を好転させるには縁起が良いとされる辰年。「コロナ禍からの脱出」を試みようと決めました。初詣は少し遅い時期でしたが、「久しぶりに初詣できてよかったね。」と笑顔があふれ、「日常」であることのありがたさを感じました。この初詣を機に、地域の皆さまの「役」に立てるようリスタートしていきたいと思います。そして、初詣で一つ祈願したことがあります。１月１日、石川県能登半島が地震により大きな被害を受けました。被災地に寄り添う言葉が聞かれます。被災地の復興をお祈りしたいと思います。

（施設長　朝木 俊介）

傷ついたふるさとをもとの姿に戻そう
やさしい春の光のような　未来を夢み
響きわたれ　ぼくたちの歌
生まれ変わる　ふるさとのまちに
届けたいわたしたちの歌　しあわせ 運べるように

「しあわせ運べるように（ふるさとバージョン）」作詞作曲：臼井真より

法人事業紹介

●養護老人ホーム 住吉苑
●特別養護老人ホーム 光明苑
●デイサービス やまびこ
●住吉訪問介護センター
●住吉高齢者生活支援センター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-2560
FAX (078) 851-1449

●住吉北部あんしんすこやかセンター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-1155
FAX (078) 851-1157

●住吉定期巡回・随時対応型訪問介護看護センター
●住吉夜間対応型訪問介護センター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-5050
FAX (078) 851-1449

Instagram
X(旧 Twitter)

●特別養護老人ホーム 友愛苑
●デイサービス こだま
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 845-3660
FAX (078) 845-3661

●友愛高齢者生活支援センター
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 846-1580
FAX (078) 843-2208

●御影北部あんしんすこやかセンター
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 843-2207
FAX (078) 843-2208

●ケアハウス ゆうあい
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-19
TEL (078) 843-2712
FAX (078) 843-2713

●特別養護老人ホーム かもこの風
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原3丁目19-30
TEL (078) 858-5070
FAX (078) 858-5071

社会福祉法人 神戸老人ホーム 法人本部

創設 明治32年

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL. (078) 851-2560 FAX. (078) 851-1449
http://www.krh-sumiyoshi.com

第7回わくわくウォークラリーを開催いたします！

3月25日～4月8日に恒例の「第7回わくわくウォークラリー」を開催いたします。
地域の高齢者のフレイル予防及び地域の方々の健康増進を目的に実施いたしておりますウォーキングイベントですが、今回で7回目の実施となります。
前回の第6回のイベントでは総勢160名の方にご参加いただきました。今回も住吉苑・光明苑、友愛苑・ケアハウスゆうあい、かもこの風 それぞれの施設で実施いたしております。
皆さまのご参加を心よりお待ちいたしております。 (法人企画部)

編集後記

まず、元日に発生した「令和6年能登半島地震」において、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。甚大な被害に見舞われ、現在も避難所などで厳しい状況にある方々を思うと胸が痛みます。高齢者施設でも職員不足の問題が深刻であり、2月には神戸老人ホームから介護応援で5日間派遣協力しました。被災地の一日も早い復興と生活再建を心より願っています。
さて、昨年、新型コロナウイルスが5類感染症に指定され、本紙でもご報告しておりますが、面会制限の緩和や外出行事、地域交流やボランティアの活動など、コロナ禍前の日常を取り戻し始めています。今後も感染予防・感染拡大防止に全力を注ぎつつ、当法人のサービスをご利用の皆様に「ここを選んでよかった」と感じていただけるよう、安心と魅力ある施設・サービスを提供してまいります。

(ケアハウスゆうあい 生活相談員 課長 中家 信生)